

たまねぎ初冬どり作型に適するセット球のセルトレイ育苗法

【1 成果の概要】

セット球を用いたたまねぎ栽培は、高単価が期待できる 11～12 月の新たまねぎの端境期出荷が可能となる技術です。春まき作型などの既存の作型と組み合わせることで出荷期の拡大による収益性向上が期待できます。初冬どり作型に適するセット球の大きさ及び育苗法について明らかにしました。

- (1) 球径 20 mm 程度のセット球を用いることで 150g 程度の収穫時調製重が期待できます(表 1)。
- (2) 遮根育苗で 288 穴セルトレイを使用し、育苗培土に被覆肥料(マイクロロングトータル 280 100 日タイプ)を培土重量比で 4% 添加すると、球径 20 mm 程度のセット球が効率的に生産できます(表 1)。
- (3) 播種適期は、2 月中旬～3 月上旬です(表 2)。

表 1 育苗法試験結果(2018～2019 年平均)

セルトレイ	被覆肥料の添加割合	セット球調査		収穫調査			
		球径 (mm)	セット球生産数 ※1 (球/㎡)	調製重 (g)	腐敗球率 (%)	障害球率 ※2 (%)	商品収量 ※3 (t/10a)
200穴	0%	20.52	903	176.0	6.7	4.2	3.4
	2%	23.28	605	205.3	13.3	3.0	3.8
288穴	0%	18.03	770	165.9	10.8	1.3	3.1
	2%	20.42	1264	171.9	21.3	2.9	2.8
	4%	20.56	1213	212.7	3.8	6.0	4.3
448穴	0%	14.25	78	90.1	16.5	0.4	1.3
	4%	17.43	756	154.3	19.6	3.3	2.5
	8%	16.78	454	158.9	7.5	1.3	3.1



図 1 セルトレイによる育苗状況

※1 球径18～24mmのセット球数 ※2 裂皮、外部分球の割合
 ※3 規格外(横径6mm未満)、欠株、腐敗球、障害球を除いたもの

表 2 播種時期試験結果(2018～2019 年平均)

播種時期	セット球調査		収穫調査	
	球径(mm)	調製重 (g)	商品収量 (t/10a)	
2月中旬	22.62	198.9	3.8	
2月下旬	21.39	183.8	2.9	
3月上旬	20.13	192.4	3.4	
3月中旬	18.43	166.2	3.1	
3月下旬	17.72	161.4	2.9	



図 2 定植用に調製したセット球 (球径約 20 mm)

【2 効果】

本県産たまねぎの出荷時期拡大に寄与します。

【3 留意事項】

- (1) たまねぎ栽培では一般的に苗を定植しますが、当作型では苗の代わりにセット球を用います。セット球とはたまねぎ小球を指します(図 1、図 2)。
- (2) セット栽培専用品種「シャルム」(タキイ種苗)を用います。
- (3) 育苗管理の詳細につきましては、「令和 2 年度試験研究成果」をご覧ください。